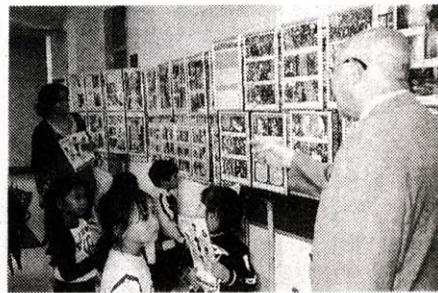


# 子ども中心に行事

経法大キャンパス開放も

## いきいき八尾環境フェスタ

環境省の支援事業に採択



子ども達も熱心に見学

八尾市と環境アニメイ  
ティッドやお(菅春水代  
表)、大阪経済法科大学

## 河内新聞

平成21年1月1日(木曜日)

(社団法人・大阪自治調査会  
・大阪府地方新聞協会加盟)

株式会社 **河内新聞社**

東大阪支社(〒579-8063)  
東大阪市横小路6-1450-5

本社(〒581-0085)  
大阪府八尾市安中町18-5-40  
TEL 072-991-0539  
FAX 072-992-8080  
**インターネット**  
http://www.kawachi-shinbun.jp  
Eメール: info@kawachi-shinbun.jp

共催による恒例の第4回「いきいき八尾環境フェスティバル2008」が昨年10月25日(土)・26日(日)の両日、八尾市文化会館と大阪経済法科大学の2会場で盛大に開催された。第1日目の八尾市文化会館では、映画「アース」の上映、学校・幼稚園の環境配慮の取組み発表と表彰、朗読劇「キンタイくんのぼっけん」、子どもたちのための音楽合唱など、未来の地域環境を担う子どもを中心に行事が行われた。

26日は大阪経済法科大学で、これまでの活動の総括を行うとともに、まちづくりを基本にした環境の未来を考えるシンポジウムを行った。また、キャンパスでは例年のように沢敷教授の洞窟の展示や体験教室、フリーマーケット、食品の販売なども行われ、子ども連れの母親も多数参加して、環境をより身近かなものとして実感していた。今年度は環境省の「生物多様性保全推進支援事業」に採択されるなど官・民・学の三者連携による取り組みが成果として認められた。

自然環境の保全だけでなく、生活環境の改善、企業の環境への取り組み、環境教育の推進、歴史遺産や文化の継承・発展なども取り組み対象にしたのが特徴といえよう。大学が地域に根ざした持続可能な地域社会を実現するため第1回目から参加した意義は大きい。